

建築文化週間2015

主催：日本建築学会

後援(予定)：日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会

協賛(予定)：大林組、鹿島、清水建設、大成建設、竹中工務店、東京ガス、東京メトロ、日建設計、日新工業、日本設計、三菱地所設計、NTT都市開発、NTTファシリティーズ、LIXIL住生活財団

建築文化週間2015の問合せ

日本建築学会事務局 事業グループ 三島・五領田

TEL：03-3456-2056 FAX：03-3456-2058 E-mail：mishima@aij.or.jp

*支部企画は、直接、主催支部へお問い合わせください。

本部企画

●建築夜楽校2015

2015年の都市建築状況を問う

情報化社会が到来し、阪神・淡路大震災、オウム真理教事件のあった1995年から20年。2015年の社会における都市と建築は、どのような状況に置かれているのか？ 本年の建築夜楽校では、二つの事象にフレームアップして、その状況を問う。

第1夜では、国民的な議論に発展してきた新国立競技場の議論を踏まえつつも、そもその問題点として、日本のコンペティションが歴史的に抱えてきた問題に切り込み議論する。第2夜では、人口減少社会の具体的な都市づくりに焦点をあてる。人口移動の問題、震災復興、地方都市の中心市街地の再生などを事例に、人口減少を空間の問題として捉え直す契機としたい。

第1夜「日本のコンペティションは、このままでよいのか？」

日時：10月2日（金）18:00～21:00（開場 17:30）

講演者(予定)：

馬場璋造（建築評論家、『新建築』元編集長）

鈴木知幸（元・2016年東京オリンピック招致推進担当課長、順天堂大学客員教授）

森山高至（建築エコノミスト）

佐藤 淳（構造家、東京大学准教授）

日埜直彦（建築家、日埜建築設計事務所代表）

浅子佳英（建築家、批評家）

田中元子（建築ライター、建築コミュニケーター）

モデレーター：

松田 達（建築家、武蔵野大学専任講師）

第2夜「地方創生まちづくりー空間と経済」

日時：10月8日（木）18:00～20:30（開場 17:30）

講演者（予定）：

泉 英明（ハートビートプラン）

木下 斉（エリア・イノベーション・アライアンス）

嶋田洋平（らいおん建築事務所）

山田高広（NPO法人りた）

モデレーター：

藤村龍至（建築家、東洋大学講師）

会場：建築会館ホール（東京都港区芝 5-26-20）

定員：300名（当日先着順）

参加費：無料

申込み：直接会場へお越しください。

動画配信：専用ページ（<http://www.ustream.tv/channel/nKK95tdJPrY>）をご覧ください。

●東京ウォッチング2015

「青山・原宿」

2020年を控えいろいろ賑やかな2015年の青山・原宿界隈を歩く。1964年にも大きな変化を伴ったこのエリアがこれからどう我々に関わってゆくのか、オリンピックの影響によるその大きな地殻変動とともに、静かに堆積する東京の地層としての断面も見つめてゆきたいと思っている。

日時：10月26日（月）13:00～16:00

見学先：青山・原宿界隈

解説者：小笠原 伸（白鷗大学経営学部教授）

定員：30名（申込制／応募多数の場合抽選）

参加費：無料

申込方法：E-mailもしくは往復ハガキ（1人1件、返信宛名を記入）にて、①氏名、②年齢、③所属、④連絡先住所、⑤連絡先電話番号を明記のうえ、「東京ウォッチング」と標記して、10月15日（木）必着で下記あてにお申し込みください（応募多数の場合抽選）。

申込先：〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 日本建築学会「東京ウォッチング2015」係
E-mail : goryoda@aij.or.jp

●カルチベートトーク

「建築家とのコラボレーションー苦勞の向こうに見える光とは」

日 時：9月29日（火）18:30～20:00

会 場：建築博物館ギャラリー（東京都港区芝 5-26-20）

講演者：藤江和子（藤江和子アトリエ）、岡安 泉（岡安泉照明設計事務所）

モデレーター：

濱野裕司（竹中工務店）

定 員：50名

参加費：1,000円（懇親会費）

申込み：日本建築学会ホームページ「[催し物・公募](#)」欄よりお申し込みください。

「インテリアデザイナーに聞く建築ーデザインの発想」

日 時：10月6日（火）18:30～20:00

会 場：建築博物館ギャラリー（東京都港区芝 5-26-20）

講演者：橋本夕紀夫（橋本夕紀夫 デザインスタジオ）

小坂 竜（A.N.D.、乃村工藝社）

モデレーター：

濱野裕司（竹中工務店）

定 員：50名

参加費：1,000円（懇親会費）

申込み：日本建築学会ホームページ「[催し物・公募](#)」欄よりお申し込みください。

●学生ワークショップ2015

「ARCHITECTURE EXPO!! 2015 #アキスポ」

DAY 1 : BATTLE IN TOKYO @港区

「半径“3,000,000mm”のリアル建築宝探しゲーム！」

田町を中心に半径5kmの東京のまちを舞台にしたリアル宝探しゲーム。6人1チームとなってミッションに挑戦し、“まちの見方”を学ぶことで何気なく通り過ぎていた景色からまちの魅力を再発見する。市民参加型ワークショップを行うことで建築分野への興味とその仕事への価値向上を期待し、集まった情報から人々の興味と建築・都市を結びつけた新しいガイドマップを作成する。

日 時：10月10日（土）10:00～18:30（9:30 受付開始/AfterParty～21:00）

会 場：港区全域／建築会館イベント広場（東京都港区芝 5-26-20）

定 員：50名（申込み先着順）

参加費：500円（AfterParty 費込）

申込み：学生ワークショップ 2015 専用ホームページ (<http://architectureexpo.com/>)
よりお申し込みください。

DAY 2：建築アカデミー賞！

「全員審査員!? 全員受賞者!? 新感覚の参加型コンペティション！」

事前に設定された軸別に成果物（既存作品、プロジェクト etc）を募集し、再評価する場を設ける。講評会の評価が絶対なのか？ 設計にばかり目がいってないか？ 偏った観点で評価されなかったものはないのか？ 今まで鳴りをひそめていた成果物を明確な評価軸のもと、部門ごとに再評価し発信することで、多様化していく建築の側面を再発見する。建築の評価軸はもはやひとつではない。

日時：10月11日（日）10:00～18:00（9:30 受付開始/AfterParty～21:00）

会場：建築会館ホール／イベント広場（東京都港区芝 5-26-20）

参加費：500 円（昼食代別・AfterParty 費込）

申込み：審査参加（ワークショップ）・作品応募共に、学生ワークショップ 2015 専用ホームページ (<http://architectureexpo.com/>) よりお申し込みください。

問合せ：学生ワークショップ2015専用アドレス

E-mail：studentws2015@gmail.com

詳細：学生ワークショップ 2015 専用ホームページ (<http://architectureexpo.com/>)
にて随時公開中

●学生グランプリ 2015

「銀茶会の茶席」

日本建築学会では全銀座会からの依頼を受け、コンペに出品された約 30 作品のうち 2015 年の最優秀作品を銀茶会で展示します。学生が原寸大で設計・施工するオリジナルティあふれる茶席空間をお楽しみください。

主催：日本建築学会

共催：全銀座会

協力：銀座三越

*「銀茶会」は、年に一度、銀座通りの周辺にお茶席を設けて行われる野点大茶会である。当日は、表千家、裏千家、武者小路千家、江戸千家、遠州流茶道、煎茶道の六流派のお茶席のほか、点茶の体験コーナーがあり、2015 年で 14 回を迎える。2009 年から、学生の設計・制作による学生創作茶席を展示・使用している。

**「銀茶カフェ」は、学生創作茶席のコンペに出品された模型と空間全体を使った表現による茶室インスタレーションを銀座 8 丁目のカフェギャラリーに展示する。

第二次審査会（公開審査）

日時：10月4日（日）13:00～

会場：建築会館イベント広場（東京都港区芝 5-26-20）

銀茶カフェ（入選作品関連展示）

日 時：10月22日（木）～30日（金）11:00～23:00（定休日：日・祝）

会 場：ART FOR THOUGHT（東京都中央区銀座8-10-4 和孝銀座8丁目ビル1F）

銀茶会

日 時：10月25日（日）時間は銀座公式ウェブサイトをご覧ください。

展示期間：10月22日（木）～26日（月）10:30～20:00（最終日は18:00まで）

会 場：銀座三越 9階テラス（東京都中央区銀座4-6-16）

支部企画

●北海道支部

シンポジウム「道民の力で北海道の歴史的建造物をまもり、活かすために一国指定重要文化財豊平館の構造補強と附属棟新築を事例として」

札幌「豊平館」を事例に、歴史的建造物の保存活用について、それぞれの立場から解説し、質疑・応答する。

共 催：日本建築学会 北海道支部、北海道遺産活用活性化委員会

後 援（予定）：北海道教育委員会、札幌市観光文化局文化部、日本建築家協会北海道支部、北海道建築士会、北海道文化財保護協会、歴史的地域遺産研究機構、北の民家の会

日 時：10月10日（土）13:15～17:00（13:00受付開始）

会 場：札幌市立大学サテライトキャンパス アスティ45 16階 1606大研修室
（北海道札幌市中央区北4条西5丁目）

解説者：豊城浩行（文化庁文化財部 主任文化財調査官）

木村 勉（長岡造形大学 教授）

松本 優（文化財建造物保存技術協会 技術主任）

細見 聡（三菱地所設計 札幌支店副支店長）

遠藤謙一良（日本建築家協会北海道支部 保存活用部会）

角 幸博（日本建築学会北海道支部 歴史意匠専門委員会）

駒木定正（ ” ” ）

羽深久夫（ ” ” ）

坂井 文（日本建築学会北海道支部 都市計画専門委員会）

斉藤雅也（日本建築学会北海道支部 環境工学専門委員会）

定員・応募条件

100名（応募条件は問いません。歴史的建造物の保存活用に関心のある方）

参加費：無料

申込方法：

10月7日(水)必着。氏名・年齢・所属・住所・電話番号を明記し、葉書かファクシミリ、またはE-mailで下記へお申し込みください。当日参加も受け付けいたします。

申込先・問合せ：

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目
札幌市立大学デザイン学部 羽深研究室
TEL：011-592-2618 FAX：011-592-5421 E-mail：h.habuka@scu.ac.jp

第40回「北海道建築賞(2015年度)」表彰式・記念講演会

2015年度第40回北海道建築賞を受賞された方々に、受賞作品を語っていただき、その後、パネルディスカッション開催する。

主催：日本建築学会 北海道支部

日時：10月30日(金)18:00～20:30

会場：北海道大学遠友学舎(北海道札幌市北区北18条西7丁目)

定員：80名

参加費：無料

申込み：直接会場へお越しください。

問合せ：日本建築学会 北海道支部

TEL：011-219-0702 E-mail：aij-hkd@themis.ocn.ne.jp

「地震時の我が家のバーチャル体験」

kinectを用いた地震時の建物倒壊・室内家具転倒散乱による人体損傷のバーチャル体験と減災対策の相談。

共催：北海道釧路総合振興局、日本建築学会北海道支部(企画：都市防災専門委員会)
(第6回くしろ安心住まいフェアとの共催)

日時：10月31日(土)10:00～16:00

会場：釧路市こども遊学館(北海道釧路市幸町10丁目2番地)

内容：1. 地震時の我が家のバーチャル体験
2. 室内安全対策の相談コーナー
1、2とも時間内で随時体験できる。

対象：地域住民、行政職員、学会員

申込み：事前申込み不要。直接会場までお越しください。

問合せ：北海道立総合研究機構北方建築総合研究所 戸松 誠

TEL：0166-66-4236 E-mail：tomatsu@hro.or.jp

●東北支部

第26回「東北建築作品発表会」

東北地方におけるすぐれた建築活動を広く人々に知っていただくとともに、それを記録し、設計者および建築関係者の相互の研鑽の場とし、もって東北地方の建築にとっての共通課題の探求にあたることを目的とする。また、本発表会での発表、並びに質疑は、東北建築賞作品賞の第一次審査の対象とする。

主催：日本建築学会 東北支部

日時：10月3日（土）10:00～16:30

会場：せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター（宮城県仙台市青葉区春日町2-1）

内容：発表部門

（1）発表部門は次の2つの部門とする。

- ・小規模建築物部門
- ・一般建築物部門

（2）小規模建築物部門は、延床面積500㎡未満の建築物を対象とし、一般建築物部門は、延床面積500㎡以上の建築物を対象とする。

発表資格：第36回東北建築賞作品賞応募者であること。

発表形式：発表者各位の用意するスライド等を用いて説明した後、質疑を行う。

参加費：無料

申込み・問合せ：

日本建築学会 東北支部

TEL：022-265-3404 E-mail：ajj-tohoku@mth.biglobe.ne.jp

●関東支部

見学会「木骨煉瓦造の産業遺産—富岡製糸場を訪ねて」

富岡製糸場は我が国の絹産業の拠点施設であり、産業近代化遺産として世界遺産登録、その後国宝建造物指定となりました。我が国の製糸工場建築の模範となった、木造軸組に煉瓦積壁とした木骨煉瓦造の長大な建築を、現在一部修理中の非公開部分と併せてみることで、明治初期から戦後までの産業施設の変化を概観する。

主催：日本建築学会 関東支部

日時：10月20日（火）13:00～15:30

見学先：富岡製糸場（群馬県富岡市富岡1-1）

集合場所：現地（交通費は自己負担）

解説者：森田昭芳（富岡市世界遺産部富岡製糸場保全課）ほか

定員：40名（申込先着順）

参加費：各自で見学券（大人1,000円）を購入のうえ入場

申込み：[関東支部ホームページ](#)からお申し込みください。

問合せ：日本建築学会 関東支部

TEL : 03-3456-2050 E-mail : kanto@aij.or.jp

第21回構造デザインフォーラム「若き構造設計者たちは今—建築学会賞作品賞を語る」

1995年から始まった構造デザインフォーラムは今年で21回目を迎え、今年度も建築文化週間の一環として開催する。本年は「若き構造設計者たちは今」と題して、2015年日本建築学会賞（作品）の構造設計を担当した構造家の多田脩二氏、小西泰孝氏に日頃の活躍を紹介していただく。今年作品賞は建築家と構造家の協働がより際立った作品であるため、建築家とのパネルディスカッションを企画し、会場と関連な議論が交わされることを期待する。

主催：日本建築学会 関東支部 構造専門研究委員会

日時：10月31日（土）15:00～18:00

会場：建築会館会議室（東京都港区芝 5-26-20）

定員：80名（申込先着順）

参加費：学生 500円、一般 1,000円

司会：中村 伸（構造専門研究委員会 WG-D 主査／日本設計）

モデレーター：斎藤公男（日本大学名誉教授）

プレゼンター：

木の構築 工学院大学弓道場・ボクシング場 福島加津也＋富永祥子＋多田脩二
上州富岡駅 武井誠＋鍋島千恵＋小西泰孝

申込み：[関東支部ホームページ](#)からお申し込みください。

問合せ：日本建築学会 関東支部

TEL : 03-3456-2050 E-mail : kanto@aij.or.jp

●東海支部

建築ウォッチング「みんなの森 ぎふメディアコスモスを巡る」

2015年7月に開館した「みんなの森 ぎふメディアコスモス」は、伊東豊雄氏の設計により岐阜大学医学部跡地に建設された市中央図書館を中心とした複合施設である。大きな木造格子の屋根のもとに、知（新図書館）、文化（展示ギャラリーや多目的ホール等）、絆（市民が交流する施設）などを備えており、市民に広く開かれる数多くの工夫がなされている。

主催：日本建築学会 東海支部 事業委員会

日時：10月24日（土）13:30～16:30

見学先：みんなの森 ぎふメディアコスモス（岐阜県岐阜市司町 40-5）

定員：30名（申込先着順）

申込方法：一般・学会会員の別、氏名、年齢、生年月日、性別、住所、連絡先（E-mail アドレス、またはFAX番号）を明記し、E-mail、またはFAXにてお申し込み

みください。これらの情報は、抽選結果の連絡や当日の保険加入手続きのため
にのみ使用します。

申込先・問合せ：

日本建築学会東海支部「建築文化週間 建築ウォッチング」係宛

E-mail : tokai-sibu@aij.or.jp FAX : 052-201-3601

●北陸支部

「集合！みんなはたてもの探偵団」

本ワークショップは、富山市内の身近な建物や町並みを探索し、都市の安全・防災・防犯に関連する施設を訪問しながら、小学生に自分の身近な生活都市空間について考える機会を与えることを目的としており、丸1日かけて行う。まず「魅力ある都市の建物・町並み」と「地域の安全・防災・防犯」について簡単な座学を行った後、班に分かれて実地体験を行い、防災や安全に関わる設備や建物を訪問し、関係者にインタビューする。さらに街を歩きながら、特徴的な建物や美しい風景を撮影する。実地体験後、班毎に探検マップを作成し、それぞれが発見した町並みの要素を洗い出す。最後にそれぞれの班のマップを紹介し合い、富山市のまちづくりについてディスカッションする。

主催：日本建築学会 北陸支部 富山支所

日時：10月12日（月・祝）9:30～17:00

会場：富山大学 人間発達科学部 第2棟 211教室（富山県富山市五福 3190）

対象：小学生

定員：30名

参加費：1,000円（昼食、保険代込）

申込み・問合せ：

日本建築学会 北陸支部

TEL : 076-220-5566 E-mail : aij-h@p2222.nsk.ne.jp

「建築まちあるきツアー」

金沢中心部には様々な建築が現存している。歴史的まちなみや現代の建築が入り交じりながら魅力的な都市空間を造り出している。マップを片手にゆっくりとまちの中を巡り歩くことで、普段気がつかなかった新しい金沢の魅力に気がつくはずである。

2014年は、駅から武蔵、香林坊までのエリアを対象としてまちあるきを行ったが、2015年は長町の武家屋敷、せせらぎ通り、にし茶屋街、寺町などのエリアをツアーガイドとともに巡りながら建築とまちなみを楽しむツアーを企画する。

主催：日本建築学会 北陸支部 石川支所

日時：10月頃

見学先：長町、せせらぎ通り、にし茶屋街、寺町等のエリア

対象：一般成人（小・中学生は保護者同伴）

定員：30名（定員になり次第締め切り）

参加費：無料（昼食代は各自負担）

申込み・問合せ：

日本建築学会 北陸支部

TEL：076-220-5566 E-mail：aij-h@p2222.nsk.ne.jp

第5回「越前・若狭の建築文化探訪（案）」

現在の福井県は、北の「越前」と南の「若狭」という二つの地域において、それぞれ独自の歴史や伝統、文化を育んできた。また、日本海の沿岸部や霊峰白山麓の農山部、あるいは長い冬期の積雪など、自然地勢的・風土的な条件からも独特な暮らしを営んできた土地柄である。こうした福井県の建築文化の多様な様相（かたち）を探訪し、あるいは講演会・展示会を予定。

主催：日本建築学会 北陸支部 福井支所

日時：10～11月頃（会場等詳細は、後日、建築雑誌や支部HPなどで通知）

対象：どなたでもご参加ください。（なお中学生以下は、保護者の同伴とする）

定員：30～50名程度（原則、現地集合とする）

参加費：原則として無料（一部入館料の必要な施設の場合は、事前に通知する）

申込み・問合せ：

日本建築学会 北陸支部

TEL：076-220-5566 E-mail：aij-h@p2222.nsk.ne.jp

●近畿支部

見学会「西脇小学校/西脇市民会館」

今回は、「日本のへそ」として知られる兵庫県の西脇市に建つ、2つの優れた近代建築を見学する。西脇小学校の木造校舎は1937年に竣工したもので、設計者は戦前から戦後にかけて兵庫県を拠点に活躍した建築家の内藤克雄（1890-1973）。建物は、下見板張りのシンプルなものが3棟平行配置されているが、要所にセセッション風の装飾が施された魅力的なものである。2008年には兵庫県の景観形成重要建造物に選定されており、映画「火垂るの墓」のロケ地としても使用された。

ところが、2013年7月に耐震性の問題を理由に、西脇市がRC造の校舎に建て替えることを発表し、突如存続の危機に晒された。しかし卒業生を中心に市民が立ちあがり熱心な保存運動を展開し、日本建築学会近畿支部が保存要望書を提出するなど協力したこともあって、2015年2月には西脇市が3棟とも保存活用することを決定した。今回は、建物の見学と合わせて保存運動の当事者に講演いただき、保存運動の成功の要因や課題についても考えたい。

また西脇市民会館は1966年に竣工したもので、設計者は根津耕一郎（1933-）。西脇市庁舎（1968年）や日本万国博覧会協会本部ビル（1970年）など、大阪を拠点に多数の建築の設計を手掛けた建築家である。建物は打ち放しコンクリートによるモダニズム建築であるが、ホール部分はシンボリックなデザインで異彩を放っており、壁面や床

面に立杭焼きのタイルが貼られているなど、見どころも多い。竣工後 50 年を前に、戦後建築の価値と今後のあり方を考える契機としたい。

主催：日本建築学会 近畿支部（企画：近代建築部会）

日時：11 月 7 日（土）13:00～17:00

見学先：西脇小学校（兵庫県西脇市西脇 656）
西脇市民会館（兵庫県西脇市郷瀬町 605）

集合場所：返送する参加証にて通知する

解説者：笠原一人（京都工芸繊維大学大学院 助教）
吉田稔美（西脇小学校木造校舎を想う会発起人）ほか

定員：30 名（申込み先着順）

参加費：無料（資料代は実費徴収）

申込方法：FAX または E-mail に「氏名、所属先名、連絡先(TEL、FAX、E-mail)」を明記のうえお申し込みください。近畿支部のホームページからもお申し込み可能です。

申込先・問合せ：

日本建築学会 近畿支部
TEL:06-6443-0538 FAX:06-6443-3144
E-mail: aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp

●中国支部

シンポジウム「戦災復興より 70 年－岡山の建築と街のあゆみ再考」

戦後 70 年、空襲で焼け野原となった岡山の中心市街地も、ほとんど戦災の影も残さず、高層ビルが建ち並ぶ政令都市として活況を呈している。昨年、JR 岡山駅近くにあった、約 46,000 m²の駐車場跡地に中国・四国地方最大級の総賃貸面積 92,000 m²を持つ都市型ショッピングモールがオープンした。中四国の交通結節点に位置する岡山市の中心市街地は、山陽新幹線の開通、瀬戸大橋の建設毎にその景観が変化し、佐藤武夫、前川國男、村野藤吾、A.レーモンド、岡田新一、芦原義信、安藤忠雄、妹島和世等の近・現代建築をリードした建築家達の建築が集積する。この建築文化週間では、岡山の建築と街のかかわりを再考することとして、岡山のランドマークとなった建物を見学するプログラムと「文化としての建築と街のかかわり」についてシンポジウムを、企画する。

主催：日本建築学会 中国支部（企画：建築文化週間 2015 実行委員会）

協力：おかやま建築 5 会+1 まちづくり協議会(岡山県建築士会、岡山県建築士事務所協会、日本建築学会中国支部岡山支所、日本建築家協会中国支部岡山地域会、岡山建築設計クラブ、NPO まちづくり推進機構岡山)

後援：岡山県、岡山市、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、RSK 山陽放送ほか

1) **おかやま建築探訪** 普段見られない所まで見学して建築のしくみと魅力を体験

コース・日時：

コース A：岡山市民会館（設計：佐藤武夫）—岡山シンフォニーホール（設計：芦原義信）—ルネスホール（旧日銀岡山支店：設計：長野宇平治、改修：佐藤正平）

10月3日（土）9:00～12:00

コース B：岡山市立オリエント美術館（設計：岡田新一）—岡山県立美術館（設計：岡田新一）

10月3日（土）13:30～15:30

コース C：朝日新聞岡山総局（設計：安藤忠雄）—おかやま信用金庫内山下支店（設計：安藤忠雄）

10月10日（土）9:30～12:00

コース D：岡山県庁（設計：前川國男）—山陽放送本社会館（設計：佐藤武夫）—林原美術館（設計：前川國男）—天神山文化プラザ（旧岡山県総合文化センター、設計：前川國男）

10月10日（土）13:30～17:00

コース E：ノートルダム清心女子大本館（設計：A.レーモンド）—中央棟（設計：村上徹）

10月17日（土）9:30～12:00

コース F：山陽新聞社本社ビル（設計：日建設計）

10月17日（土）13:30～14:30

コース G：岡山大学国際交流館（設計：東畑建築設計事務所）—地域総合研究センター—Junko Fukutake Terrace（設計：SANAA）

10月17日（土）13:30～15:30

集合場所：受付け後に通知

対象：中学生以上

定員：各コース 20名（申込み先着順）

参加費：無料（ただし、美術館は入館料が必要）

申込み：本会中国支部ホームページより、「おかやま建築探訪 参加申込み書」をダウンロードして、必要事項を記入し、9月20日（日）までに下記へお申し込みください。

日本建築学会 北陸支部 福井支所 FAX: 086-238-3074

E-mail : okayama-sisho@aij-okayama.hope.cx

2) シンポジウム「文化としての建築と街のかかわり」

日時：10月24日（土）13:30～16:30

会場：岡山県天神山文化プラザ・ホール（岡山県岡山市北区天神町 8-54）

講演：「わたしたちの都市」を育む建築体験：倉方俊輔（建築史家）

シンポジウム・パネリスト：倉方俊輔（前掲）他

鼎 談：倉方俊輔（前掲）、上田恭嗣（ノートルダム清心女子大学教授）、山田孝延（岡山県立大学名誉教授）

定 員：270名（申込み不要）

参加費：無料

問合せ：日本建築学会 中国支部

TEL：082-243-6605 E-mail：aij-chugoku@sirius.ocn.ne.jp

●四国支部

「こんなまちに住みたいナー絵本が育む暮らし・まちづくりの発想」絵本大集合幻燈会

今年度の建築文化週間では、延藤安弘先生をお迎えし、「こんなまちに住みたいナー絵本が育む暮らし・まちづくりの発想」絵本大集合幻燈会を開催する。延藤先生の著書『こんなまちに住みたいナー絵本が育む暮らし・まちづくりの発想』は、絵本の持っている《力》を感じ、味わうための指南書である。そのため、内外のすばらしい、たくさんの絵本を紹介している。本書のねらいについて延藤先生は、「はじめに」の中で、「本書は、《絵本の力》によって現代に生きる大人の疲弊した精神を徐々に回復し、自分らしい生き方と暮らしやまちづくりに向けての自らの思考の地平を取り戻すことにあります。では、なぜ自由な発想をすると、暮らしやまちづくりに目がいくようになるのでしょうか？ 大人の努めは、愛することと働くこと。そして、その両者をゆるやかに包むようにつなぐ暮らしのある場が「まち」です。よりよく愛し働くために、必然的に「まち」が必要になるのです」と述べている。そして、「世の中、ままならぬことが充満していますが、絵本に触れ、物語のユニークさや言葉の詩的表現、絵の美しさやおどろき・ユーモアを楽しむことにより、生活の中に、自由に発想するヒントやきっかけとなれば」とも言っている。本講演は、内外のすばらしい、たくさんの絵本の1ページ、1ページをスライドとして映し出しながら、その背景・意味（深み）を解析していく。延藤先生の絶妙な語り口で絵本の世界をお楽しみいただきたい。

主 催：日本建築学会 四国支部

共 催：高知こどもの図書館

後 援：高知工科大学、高知県建築士会、高知県建築士事務所協会、高知まちづくり支援ネットワーク

日 時：10月12日（月・祝）13:30～15:50

会 場：高知県立県民文化ホール・第6多目的室（高知県高知市本町4-3-30）

講演者：延藤安弘（「まちの縁側育くみ隊」代表理事）

定 員：100名

参加費：無料

申込み・問合せ：

日本建築学会 四国支部 木下康子・大谷英人

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学地域連携棟201 TEL：0887-53-4858 E-mail：aijsc@kochi-tech.ac.jp

●九州支部

見学会「沖縄モダニズム建築を巡る」

日本建築学会九州支部沖縄支所では、2015年度建築文化週間の支部事業として、沖縄の本土復帰前後の現代建築を巡る見学会を企画した。戦後の沖縄建築は、アメリカや日本本土のモダニズム建築からの影響を受けながらも、沖縄独自の発展をとげてきた。しかし、1972年の本土復帰から今年で43年となり、当時の建築物の老朽化が深刻な状況となっている。ここ数年は、毎年のように、これらの貴重な建築物が少しずつ姿を消しており、戦後の沖縄現代建築に対する評価が見直されるべき時期にきている。モダニズム建築の中に、沖縄のアイデンティティが垣間みられる、貴重な建築物を是非今、広く社会の皆様にご覧いただけるよう、ご案内申し上げます。

主催：日本建築学会 九州支部 沖縄支所、琉球大学環境建設工学科建築コース

日時：10月10日（土）9:00～18:30

見学先：那覇市新庁舎（国建 2012）、那覇市民会館（現代建築設計事務所 1970）、聖クララ修道院（片岡献+SOM 1958）、ホテルムーンビーチ（国建 1975）、名護市庁舎（象設計集団 1981）、沖縄県立博物館・美術館（石本建築事務所 2007）

定員：45名

参加費：無料（昼食代は各自負担）

資料等：無料配布

申込み：E-mailで「氏名、勤務先、年齢、住所、電話番号、E-mail」を明記して下記までお申し込みください。学会会員、一般市民から募集し、定員までの先着順といたします。

日本建築学会 九州支部 沖縄支所 文化事業計画担当 金城

E-mail : kinjohrn@tec.u-ryukyu.ac.jp